

## 授業単位数一覧表

令和7年度入学者用(令和8年度2年生 令和9年度3年生 令和10年度4年生 令和11年度5年生 令和12年度6年生)※Ⅲ期以降は予定

### I・II期

科目名	単位数	I期	II期	備考	
数学	1	○		必修	
統計学	2		○		
数理学	1	○			
物理学A	1	○			
物理学B	1		○		
化学A	1	○			
化学B	1		○		
生物学A	1	○			
生物学B	1		○		
法学	1	○			
倫理学	1	○			
心理学I	1	○			
心理学II	1		○		
医療社会科学I	1	○			
ケアマインド教育	3	○	○		
医学統計学	1		○		
物理学実習I	1	○			
化学実習I	1	○			
生物学実習I	1	○			
情報処理	1	○			
教養セミナーI	1	○			別途提示する複数のテーマより、一つを選択
教養セミナーII	1		○		別途提示する複数のテーマより、一つを選択
物理学実習II	1		○		3科目の内2科目選択・必修
化学実習II	1		○		
生物学実習II	1		○		
英語Ia	1	○		英語科目の内3単位を選択・必修	
英語Ib	1	○			
英語IIa	1		○		
英語IIb	1		○		
英語IIc	1		○		
ドイツ語I	2	○		IとIIで同一言語を選択・必修	
中国語I	2	○			
フランス語I	2	○			
ドイツ語II	2		○		
中国語II	2		○		
フランス語II	2		○		
哲学	1		○	いずれか1単位を選択・必修	
社会学	1		○		
保健体育I	1	○		いずれか1単位を選択・必修	
保健体育II	1		○		
医学概論I	1	○		必修	
医学概論II	1		○		
生体分子の構造と機能I	2.4			必修	
必修単位数合計	40.4				
地域マインド教育I	0.3		○	地域医療枠・県民医療枠ABC必修	
心理学実習	1		○	自由選択	
医療経済学	1		○	自由選択(令和7年度は開講なし)	
基礎物理学	1	○		自由選択(同時間開講の為、1科目のみ選択可)	
基礎化学	1	○			
基礎生物学	1	○			
選択単位数合計	2.3				
上限単位数	42.7				

### Ⅲ期・Ⅳ期

科目名	単位数
細胞の構造と機能(実習を含む)	3.8
生体分子の構造と機能II(実習を含む)	3.8
人体の正常構造と機能(実習を含む)	25
地域医療I	0.4
健康管理I	0.4
基礎医学英語	0.9
医療社会科学II	1
医療行動科学	0.9
地域実習	1
医学入門(実習を含む)	3
病棟実習I	1
遺伝子と遺伝子異常	1.6
生体と薬物I	2.4
データサイエンス	0.5
IT医療	0.5
必修単位数合計	46.2
地域マインド教育II	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.6
上限単位数	48.8

### V・VI期

科目名	単位数
生体と微生物(実習を含む)	7
病因と病態(実習を含む)	5
人の死(法医学)	3
免疫と生体防御	2
生体と薬物II	4.3
生態と病害動物(寄生虫学)	1
医学英語	0.9
基礎配属	12.1
病態栄養治療学	0.3
臨床検査医学	0.3
皮膚科学	1
呼吸器系	1.5
麻酔科学	1
救急医学	0.9
代謝内分泌系	1.8
特殊感覚系(耳鼻咽喉科)	1.1
血液系	1.5
臨床英語I	0.5
がんゲノム	0.5
キャリア形成	0.5
研究倫理	0.5
必修単位数合計	46.7
地域マインド教育III	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
黒潮災害・救急	0.7
選択単位数合計	3.3
上限単位数	50

## 授業単位数一覧表

### VII・VIII期

科目名	単位数
感染・腫瘍免疫系	1
循環器系	2.2
消化器系	2.2
神経系	2.2
腎・泌尿器系	2.2
特殊感覚系(眼科)	1.1
運動器系	1.7
精神医学系	1.9
生殖系	2.2
小児科学	1.7
画像医学・放射線治療	1
リハビリテーション	0.7
歯科口腔外科	0.5
病理診断学	1.6
衛生学(実習含む)	3.4
公衆衛生学(実習含む)	
東洋医学	0.6
形成外科学	0.5
リウマチ・膠原病系	0.7
医と法	0.3
医療情報学	0.6
個人情報	0.1
緩和医療	0.1
医療安全	0.4
地域医療Ⅱ	0.3
健康管理Ⅱ	0.2
腫瘍内科学	0.1
総合診療	0.4
臨床英語Ⅱ	0.5
病棟実習Ⅱ	1
臨床実習入門	4
看護体験実習	
必修単位数合計	35.4
地域マインド教育Ⅳ	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.6
上限単位数	38

### IX・X期

科目名	単位数
臨床実習	44
合計	44
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.3
上限単位数	46.3

### XI・XII期

科目名	単位数
選択制臨床実習	18

大学設置基準  
第二十一条  
各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。  
2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、第二十五条第一項(※)に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位として単位数を計算するものとする。(略)  
(※)第二十五条  
授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

必修単位数合計 230.7 上限 243.8

※1年生の「黒潮地域総合診療」はケアマインド内早期体験実習に含まれて実施される。  
※1年生・2年生・3年生・4年生・5年生の「黒潮地域総合診療」は主に地域医療枠・県民医療枠Aが選択。  
※1年生の「地域マインド教育Ⅰ」、2年生の「地域マインド教育Ⅱ」、3年生の「地域マインド教育Ⅲ」、4年生の「地域マインド教育Ⅳ」は地域医療枠・県民医療枠ABC必修。  
※黒潮体験実習は、病棟実習Ⅰ,Ⅱに含まれて実施される。  
※黒潮長期滞在型クリニカルクラークシップは選択制臨床実習に含まれて実施される。

## 授業単位数一覧表

令和6年度入学用(令和7年度2年生 令和8年度3年生 令和9年度4年生 令和10年度5年生 令和11年度6年生)※V期以降は予定

### I・II期

科目名	単位数	I期	II期	備考	
数学	1	○		必修	
統計学	2		○		
数理学	1	○			
物理学A	1	○			
物理学B	1		○		
化学A	1	○			
化学B	1		○		
生物学A	1	○			
生物学B	1		○		
法学	1	○			
倫理学	1	○			
心理学I	1	○			
心理学II	1		○		
医療社会科学I	1	○			
医療経済学	1		○		
ケアマインド教育	3	○	○		
医学統計学	1		○		
物理学実習I	1	○			
化学実習I	1	○			
生物学実習I	1	○			
情報処理	1	○			
心理学実習	1		○		
教養セミナーI	1	○			別途提示する複数のテーマより、一つを選択
教養セミナーII	1		○		別途提示する複数のテーマより、一つを選択
物理学実習II	1		○		3科目の内2科目選択・必修
化学実習II	1		○		
生物学実習II	1		○		
英語Ia	1	○		英語科目の内3単位を選択・必修	
英語Ib	1	○			
英語IIa	1		○		
英語IIb	1		○		
英語IIc	1		○		
ドイツ語I	2	○		IとIIで同一言語を選択・必修	
中国語I	2	○			
フランス語I	2	○			
ドイツ語II	2		○		
中国語II	2		○		
フランス語II	2		○		
哲学	1		○	いずれか1単位を選択・必修	
社会学	1		○		
保健体育I	1	○		いずれか1単位を選択・必修	
保健体育II	1		○		
医学概論I	1	○		必修	
医学概論II	1		○		
基礎物理学	1	○		自由選択(同時間開講の為、1科目のみ選択可)	
基礎化学	1	○			
基礎生物学	1	○			
生体分子の構造と機能I	2.4			必修	
地域マインド教育I	0.3		○	地域医療枠・県民医療枠ABC必修	
合計	必修 42.4 単位		上限 43.7 単位		

### III期・IV期

科目名	単位数
細胞の構造と機能(実習を含む)	3.8
生体分子の構造と機能II(実習を含む)	3.8
人体の正常構造と機能(実習を含む)	25
地域医療I	0.4
健康管理I	0.4
基礎医学英語	0.9
医療社会科学II	1
医療行動科学	0.9
地域実習	1
医学入門(実習を含む)	3
病棟実習I	1
遺伝子と遺伝子異常	1.6
生体と薬物I	2.4
データサイエンス	0.5
IT医療	0.5
必修単位数合計	46.2
地域マインド教育II	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.6
上限単位数	48.8

### V・VI期

科目名	単位数
生体と微生物(実習を含む)	7
病因と病態(実習を含む)	5
人の死(法医学)	3
免疫と生体防御	2
生体と薬物II	4.3
生態と病害動物(寄生虫学)	1
医学英語	0.9
基礎配属	12.1
病態栄養治療学	0.3
臨床検査医学	0.3
皮膚科学	1
呼吸器系	1.5
麻酔科学	1
救急医学	0.9
代謝内分泌系	1.8
特殊感覚系(耳鼻咽喉科)	1.1
血液系	1.5
臨床英語I	0.5
がんゲノム	0.5
キャリア形成	0.5
研究倫理	0.5
必修単位数合計	46.7
地域マインド教育III	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
黒潮災害・救急	0.7
選択単位数合計	3.3
上限単位数	50

## 授業単位数一覧表

### VII・VIII期

科目名	単位数
感染・腫瘍免疫系	1
循環器系	2.2
消化器系	2.2
神経系	2.2
腎・泌尿器系	2.2
特殊感覚系(眼科)	1.1
運動器系	1.7
精神医学系	1.9
生殖系	2.2
小児科学	1.7
画像医学・放射線治療	1
リハビリテーション	0.7
歯科口腔外科	0.5
病理診断学	1.6
衛生学(実習含む)	3.4
公衆衛生学(実習含む)	
東洋医学	0.6
形成外科学	0.5
リウマチ・膠原病系	0.7
医と法	0.3
医療情報学	0.6
個人情報	0.1
緩和医療	0.1
医療安全	0.4
地域医療Ⅱ	0.3
健康管理Ⅱ	0.2
腫瘍内科学	0.1
総合診療	0.4
臨床英語Ⅱ	0.5
病棟実習Ⅱ	1
臨床実習入門	4
看護体験実習	
必修単位数合計	35.4
地域マインド教育Ⅳ	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.6
上限単位数	38

### IX・X期

科目名	単位数
臨床実習	44
合計	44
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.3
上限単位数	46.3

### XI・XII期

科目名	単位数
選択制臨床実習	18

大学設置基準  
第二十一条  
各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。  
2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、第二十五条第一項(※)に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位として単位数を計算するものとする。(略)  
(※)第二十五条  
授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

必修単位数合計 232.7      上限 244.8

※1年生の「黒潮地域総合診療」はケアマインド内早期体験実習に含まれて実施される。  
※1年生・2年生・3年生・4年生・5年生の「黒潮地域総合診療」は主に地域医療枠・県民医療枠Aが選択。  
※1年生の「地域マインド教育Ⅰ」、2年生の「地域マインド教育Ⅱ」、3年生の「地域マインド教育Ⅲ」、4年生の「地域マインド教育Ⅳ」は地域医療枠・県民医療枠ABC必修。  
※黒潮体験実習は、病棟実習Ⅰ,Ⅱに含まれて実施される。  
※黒潮長期滞在型臨床クラークシップは選択制臨床実習に含まれて実施される。

## 授業単位数一覧表

令和5年度入学者用(令和6年度2年生 令和7年度3年生 令和8年度4年生 令和9年度5年生 令和10年度6年生)※Ⅶ期以降は予定

### I・II期

科目名	単位数	I期	II期	備考
数学	1	○		必修
統計学	2		○	
数理学	1	○		
物理学A	1	○		
物理学B	1		○	
化学A	1	○		
化学B	1		○	
生物学A	1	○		
生物学B	1		○	
法学	1	○		
倫理学	1	○		
心理学 I	1	○		
心理学 II	1		○	
医療社会科学 I	1	○		
医療経済学	1		○	
ケアマインド教育	3	○	○	
医学統計学	1		○	
物理学実習 I	1	○		
化学実習 I	1	○		
生物学実習 I	1	○		
情報処理	1	○		
心理学実習	1		○	
教養セミナー I	1	○		
教養セミナー II	1		○	別途提示する複数のテーマより、一つを選択
物理学実習 II	1		○	3科目の内2科目選択・必修
化学実習 II	1		○	
生物学実習 II	1		○	
英語 I a	1	○		英語科目の内3単位を選択・必修
英語 I b	1	○		
英語 II a	1		○	
英語 II b	1		○	
英語 II c	1		○	
ドイツ語 I	2	○		IとIIで同一言語を選択・必修
中国語 I	2	○		
フランス語 I	2	○		
ドイツ語 II	2		○	
中国語 II	2		○	
フランス語 II	2		○	
哲学	1		○	いずれか1単位を選択・必修
社会学	1		○	
保健体育 I	1	○		いずれか1単位を選択・必修
保健体育 II	1		○	
医学概論 I	1	○		必修
医学概論 II	1		○	
基礎物理学	1	○		自由選択(同時間開講の為、1科目のみ選択可)
基礎化学	1	○		
基礎生物学	1	○		
生体分子の構造と機能 I	2.4			必修
地域マインド教育 I	0.3		○	地域医療枠・県民医療枠ABC必修
合計	必修 42.4 単位		上限 43.7 単位	

### Ⅲ期・Ⅳ期

科目名	単位数
細胞の構造と機能(実習を含む)	3.8
生体分子の構造と機能 II(実習を含む)	3.8
人体の正常構造と機能(実習を含む)	25
地域医療・地域保健 I	0.8
基礎医学英語	1.9
医療社会科学 II	1
医療行動科学	0.9
地域実習	1
医学入門(実習を含む)	3
病棟実習 I	1
遺伝子と遺伝子異常	1.6
生体と薬物 I	2.4
データサイエンス	0.5
IT医療	0.5
必修単位数合計	47.2
地域マインド教育 II	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.6
上限単位数	49.8

### V・Ⅵ期

科目名	単位数
生体と微生物(実習を含む)	7
病因と病態(実習を含む)	5
人の死(法医学)	3
免疫と生体防御	2
生体と薬物 II	4.3
生態と病害動物(寄生虫学)	1
医学英語	0.9
基礎配属	12.1
病態栄養治療学	0.3
臨床検査医学	0.3
皮膚科学	1
呼吸器系	1.5
麻酔科学	1
救急医学	0.9
代謝内分泌系	1.8
特殊感覚系(耳鼻咽喉科)	1.1
血液系	1.5
臨床英語 I	0.5
がんゲノム	0.5
キャリア形成	0.5
研究倫理	0.5
必修単位数合計	46.7
地域マインド教育 III	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
黒潮災害・救急	0.7
選択単位数合計	3.3
上限単位数	50

## 授業単位数一覧表

### VII・VIII期

科目名	単位数
感染・腫瘍免疫系	1
循環器系	2.2
消化器系	2.2
神経系	2.2
腎・泌尿器系	2.2
特殊感覚系(眼科)	1.1
運動器系	1.7
精神医学系	1.9
生殖系	2.2
小児科学	1.7
画像医学・放射線治療	1
リハビリテーション	0.7
歯科口腔外科	0.5
病理診断学	1.6
衛生学(実習含む)	3.4
公衆衛生学(実習含む)	
東洋医学	0.6
形成外科学	0.5
リウマチ・膠原病系	0.7
医と法	0.3
医療情報学	0.6
個人情報	0.1
緩和医療	0.1
医療安全	0.4
地域医療Ⅱ	0.3
健康管理Ⅱ	0.2
腫瘍内科学	0.1
総合診療	0.4
臨床英語Ⅱ	0.5
病棟実習Ⅱ	1
臨床実習入門	4
看護体験実習	
必修単位数合計	35.4
地域マインド教育Ⅳ	0.3
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.6
上限単位数	38

### IX・X期

科目名	単位数
臨床実習	44
合計	44
黒潮地域総合診療	2.3
選択単位数合計	2.3
上限単位数	46.3

### XI・XII期

科目名	単位数
選択制臨床実習	18

大学設置基準  
第二十一条  
各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。  
2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、第二十五条第一項(※)に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位として単位数を計算するものとする。(略)  
(※)第二十五条  
授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

必修単位数合計 233.7 上限 245.8

※1年生の「黒潮地域総合診療」はケアマインド内早期体験実習に含まれて実施される。  
※1年生・2年生・3年生・4年生・5年生の「黒潮地域総合診療」は主に地域医療枠・県民医療枠Aが選択。  
※1年生の「地域マインド教育Ⅰ」、2年生の「地域マインド教育Ⅱ」、3年生の「地域マインド教育Ⅲ」、4年生の「地域マインド教育Ⅳ」は地域医療枠・県民医療枠ABC必修。  
※黒潮体験実習は、病棟実習Ⅰ,Ⅱに含まれて実施される。  
※黒潮長期滞在型クリニカルクラークシップは選択制臨床実習に含まれて実施される。

## 授業単位数一覧表

※区期以降は予定

### I・II期

科目名	I期	II期	備考
数学	○		必修
統計学		○	
数理学	○		
物理学A	○		
物理学B		○	
化学A	○		
化学B		○	
生物学A	○		
生物学B		○	
法学	○		
倫理学	○		
心理学 I	○		
心理学 II		○	
医療社会科学 I	○		
医療経済学		○	
ケアマインド教育	○	○	
医学統計学		○	
物理学実習 I	○		
化学実習 I	○		
生物学実習 I	○		
情報処理	○		
心理学実習		○	
教養セミナー I	○		別途提示する複数のテーマより、一つを選択
教養セミナー II		○	別途提示する複数のテーマより、一つを選択
物理学実習 II		○	3科目の内2科目選択・必修
化学実習 II		○	
生物学実習 II		○	
英語 I a	○		英語科目の内3単位を選択・必修
英語 I b	○		
英語 II a		○	
英語 II b		○	
英語 II c		○	
ドイツ語 I	○		IとIIで同一言語を選択・必修
中国語 I	○		
フランス語 I	○		
ドイツ語 II		○	
中国語 II		○	
フランス語 II		○	
哲学		○	いずれか1単位を選択・必修
社会学		○	
保健体育 I	○		いずれか1単位を選択・必修
保健体育 II		○	
医学概論 I	○		必修
医学概論 II		○	
基礎物理学	○		自由選択(同時間開講の為、1科目のみ選択可)
基礎化学	○		
基礎生物学	○		
合計	必修 40	単位	上限 41 単位

### III期・IV期

科目名	単位数
細胞の構造と機能(実習を含む)	10
生体分子の構造と機能(実習を含む)	
人体の正常構造と機能(実習を含む)	25
地域医療・地域保健 I	0.8
基礎医学英語	1.9
医療社会科学 II	1
医療行動科学	0.9
地域実習	1
医学入門(実習を含む)	3
病棟実習 I	1
遺伝子と遺伝子異常	1.6
生体と薬物 I	2.4
データサイエンス	0.5
IT医療	0.5
必修単位数合計	49.6
地域マインド教育 II	0.3
選択単位数合計	0.3
上限単位数	49.9

### V・VI期

科目名	単位数
生体と微生物(実習を含む)	7
病因と病態(実習を含む)	5
人の死(法医学)	3
免疫と生体防御	2
生体と薬物 II	4.3
生態と病害動物(寄生虫学)	1
医学英語	0.9
基礎配属	11.9
病態栄養治療学	0.3
臨床検査医学	0.3
皮膚科学	1
呼吸器系	1.5
麻酔科学	1
救急医学	0.9
代謝内分泌系	1.8
特殊感覚系(耳鼻咽喉科)	1.1
血液系	1.5
臨床英語 I	0.5
がんゲノム	0.5
キャリア形成	0.5
研究倫理	0.5
必修単位数合計	46.5
地域マインド教育 III	0.3
黒潮災害・救急	0.7
選択単位数合計	1
上限単位数	47.5

※Ⅶ期以降は予定

## 授業単位数一覧表

### Ⅶ・Ⅷ期

科目名	単位数
感染・腫瘍免疫系	1
循環器系	2.2
消化器系	2.2
神経系	2.2
腎・泌尿器系	2.2
特殊感覚系(眼科)	1.1
運動器系	1.7
精神医学系	1.9
生殖系	2.2
小児科学	1.7
画像医学・放射線治療	1
リハビリテーション	0.7
歯科口腔外科	0.5
病理診断学	1.6
衛生学(実習含む)	3.4
公衆衛生学(実習含む)	
東洋医学	0.6
形成外科学	0.5
リウマチ・膠原病系	0.7
医と法	0.3
医療情報学	0.6
個人情報	0.1
緩和医療	0.1
医療安全	0.4
地域医療Ⅱ	0.3
健康管理Ⅱ	0.2
腫瘍内科学	0.1
総合診療	0.4
臨床英語Ⅱ	0.5
病棟実習Ⅱ	1
臨床実習入門	4
看護体験実習	
必修単位数合計	35.4
地域マインド教育Ⅳ	0.3
選択単位数合計	0.3
上限単位数	35.7

### Ⅸ・Ⅹ期

科目名	単位数
臨床実習	44
合計	44

### Ⅺ・Ⅻ期

科目名	単位数
選択制臨床実習	18

#### 大学設置基準

#### 第二十一条

各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。  
 2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第二十五条第一項(※)に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位として単位数を計算するものとする。(略)

#### (※)第二十五条

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

必修単位数合計 233.5      上限 236.1

※2年生の「地域マインド教育Ⅱ」、3年生の「地域マインド教育Ⅲ」、4年生の「地域マインド教育Ⅳ」は地域医療枠・県民医療枠必修。  
 ※黒潮体験実習は、病棟実習Ⅰ,Ⅲに含まれて実施される。  
 ※黒潮長期滞在型クリニカルクラークシップは選択制臨床実習に含まれて実施される。



## 授業単位数一覧表

### I・II期

科目名	単位数	I期	II期	備考
数学	1	○		必修
統計学	2		○	
数理学	1	○		
物理学A	1	○		
物理学B	1		○	
化学A	1	○		
化学B	1		○	
生物学A	1	○		
生物学B	1		○	
法学	1	○		
倫理学	1	○		
心理学 I	1	○		
心理学 II	1		○	
医療社会科学 I	1	○		
医療経済学	1		○	
ケアマインド教育	3	○	○	
医学統計学	1		○	
物理学実習 I	1	○		
化学実習 I	1	○		
生物学実習 I	1	○		
情報処理	1	○		
心理学実習	1		○	
教養セミナー I	1	○		別途提示する複数のテーマより、一つを選択
教養セミナー II	1		○	別途提示する複数のテーマより、一つを選択
物理学実習 II	1		○	3科目の内2科目選択・必修
化学実習 II	1		○	
生物学実習 II	1		○	
英語 I a	1	○		英語科目の内3単位を選択・必修
英語 I b	1	○		
英語 II a	1		○	
英語 II b	1		○	
英語 II c	1		○	
ドイツ語 I	2	○		IとIIで同一言語を選択・必修
中国語 I	2	○		
フランス語 I	2	○		
ドイツ語 II	2		○	
中国語 II	2		○	
フランス語 II	2		○	
哲学	1		○	いずれか1単位を選択・必修
社会学	1		○	
保健体育 I	1	○		いずれか1単位を選択・必修
保健体育 II	1		○	
医学概論 I	1	○		必修
医学概論 II	1		○	
基礎物理学	1	○		自由選択(同時間開講の為、1科目のみ選択可)
基礎化学	1	○		
基礎生物学	1	○		
合計	必須 40	単位	上限 41	単位

### III期・IV期

科目名	単位数
細胞の構造と機能(実習を含む)	10
生体分子の構造と機能(実習を含む)	
人体の正常構造と機能(実習を含む)	24
地域医療・地域保健 I	1
基礎医学英語	2
医療社会科学 II	1
医療行動科学	1
地域実習	1
医学入門	3
病棟実習 I	1
合計	44

### V・VI期

科目名	単位数
生体と微生物(実習を含む)	7
病因と病態(実習を含む)	5
人の死(法医学)	3
免疫と生体防御	2
生体と薬物(実習を含む)	6.8
生態と病害動物(寄生虫学)	1
遺伝子と遺伝子異常	1.6
医学英語	0.9
基礎配属	10.9
病棟実習 II	1
病態栄養治療学	0.3
臨床検査医学	0.3
皮膚科学	1
呼吸器系	1.5
麻酔科学	1
救急医学	0.9
代謝内分泌系	1.8
特殊感覚系(耳鼻咽喉科)	1.1
血液系	1.5
臨床英語 I	0.5
がんゲノム	0.5
キャリア形成	0.5
研究倫理	0.5
必修単位数合計	50.6
地域マインド教育 III	0.3
黒潮災害・救急	0.7
選択単位数合計	1
上限単位数	51.6

※Ⅸ期以降は予定

## 授業単位数一覧表

### Ⅶ・Ⅷ期

科目名	単位数
感染・腫瘍免疫系	1
循環器系	2.2
消化器系	2.2
神経系	2.2
腎・泌尿器系	2.2
特殊感覚系(眼科)	1.1
運動器系	1.7
精神医学系	1.9
生殖系	2.2
小児科学	1.7
画像医学	0.9
リハビリテーション	0.7
歯科口腔外科	0.5
病理診断学	1.6
衛生学(実習含む)	3.4
公衆衛生学(実習含む)	
東洋医学	0.6
形成外科学	0.5
リウマチ・膠原病系	0.7
放射線治療	0.1
医と法	0.3
医療情報学	0.6
個人情報	0.1
緩和医療	0.1
医療安全	0.4
地域医療・地域保健Ⅱ	0.4
腫瘍内科学	0.1
総合診療	0.4
臨床英語Ⅱ	0.5
臨床実習入門	4
看護体験実習	
必須単位数合計	34.3
地域マインド教育Ⅳ	0.3
選択単位数合計	0.3
上限単位数	34.6

### Ⅸ・Ⅹ期

科目名	単位数
臨床実習	44
合計	44

### Ⅺ・Ⅻ期

科目名	単位数
選択制臨床実習	18

#### 大学設置基準

##### 第二十一条

各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、第二十五条第一項(※)に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位として単位数を計算するものとする。(略)

##### (※)第二十五条

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

必修単位数合計 230.9      上限 233.2

※3年生の「地域マインド教育Ⅲ」、4年生の「地域マインド教育Ⅳ」は地域医療枠・県民医療枠必修。  
 ※黒潮体験実習は、病棟実習Ⅲに含まれて実施される。  
 ※黒潮長期滞在型クリニカルクラークシップは選択制臨床実習に含まれて実施される。

## 授業単位数一覧表

※Ⅺ期以降は予定

### I・II期

科目名	単位数	I期	II期	備考
数学	1	○		必修
統計学	2		○	
数理科学	1	○		
物理学A	1	○		
物理学B	1		○	
化学A	1	○		
化学B	1		○	
生物学A	1	○		
生物学B	1		○	
法学	1	○		
倫理学	1	○		
心理学 I	1	○		
心理学 II	1		○	
医療社会科学 I	1	○		
医療経済学	1		○	
ケアマインド教育	3	○	○	
医学統計学	1		○	
物理学実習 I	1	○		
化学実習 I	1	○		
生物学実習 I	1	○		
情報処理	1	○		
心理学実習	1		○	
教養セミナー I	1	○		別途提示する複数のテーマより、一つを選択
教養セミナー II	1		○	別途提示する複数のテーマより、一つを選択
物理学実習 II	1		○	3科目の内2科目選択・必修
化学実習 II	1		○	
生物学実習 II	1		○	
英語 I a	1	○		英語科目の内3単位を選択・必修
英語 I b	1	○		
英語 II a	1		○	
英語 II b	1		○	
英語 II c	1		○	
ドイツ語 I	2	○		IとIIで同一言語を選択・必修
中国語 I	2	○		
フランス語 I	2	○		
ドイツ語 II	2		○	
中国語 II	2		○	
フランス語 II	2		○	
哲学	1		○	いずれか1単位を選択・必修
社会学	1		○	
保健体育 I	1	○		いずれか1単位を選択・必修
保健体育 II	1		○	
医学概論 I	1	○		必修
医学概論 II	1		○	
基礎物理学	1	○		自由選択(同時間開講の為、1科目のみ選択可)
基礎化学	1	○		
基礎生物学	1	○		
合計	必須 40	単位	上限 41	単位

### III期・IV期

科目名	単位数
細胞の構造と機能(実習を含む)	10
生体分子の構造と機能(実習を含む)	
人体の正常構造と機能(実習を含む)	24
地域医療・地域保健 I	1
基礎医学英語	2
医療社会科学 II	1
医療行動科学	1
地域実習	1
医学入門	3
合計	43

### V・VI期

科目名	単位数
生体と微生物(実習を含む)	7
病因と病態(実習を含む)	5
人の死(法医学)	3
免疫と生体防御	2
生体と薬物(実習を含む)	7
生態と病害動物(寄生虫学)	1
遺伝子と遺伝子異常	2
医学英語	1
基礎配属	14
病棟実習 II	1
合計	43

※XI期以降は予定

## 授業単位数一覧表

### VII・VIII期

科目名	単位数
血液系	1.5
代謝内分泌系	1.8
感染・腫瘍免疫系	1
循環器系	2.2
呼吸器系	1.5
消化器系	2.2
神経系	2.2
腎・泌尿器系	2.2
特殊感覚系(耳鼻咽喉科)	1.1
特殊感覚系(眼科)	1.1
皮膚科学	1
運動器系	1.7
精神医学系	1.9
生殖系	2.2
小児科学	1.7
麻酔科学	1
救急医学	0.8
画像医学	0.9
リハビリテーション	0.7
歯科口腔外科	0.5
病理診断学	1.6
衛生学(実習含む)	3.4
公衆衛生学(実習含む)	
東洋医学	0.6
臨床検査医学	0.3
形成外科学	0.5
リウマチ・膠原病系	0.7
放射線治療	0.1
医と法	0.3
医療情報学	0.6
個人情報	0.1
緩和医療	0.1
医療安全	0.4
地域医療・地域保健Ⅱ	0.4
腫瘍内科学	0.1
病態栄養治療学	0.3
総合診療	0.4
臨床英語Ⅱ	0.5
臨床実習入門	4
看護体験実習	
必須単位数合計	43.6
地域マインド教育Ⅳ	0.3
選択単位数合計	0.3
上限単位数	43.9

### IX・X期

科目名	単位数
臨床実習	44
合計	44

### XI・XII期

科目名	単位数
選択制臨床実習	18

#### 大学設置基準

#### 第二十一条

各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、第二十五条第一項(※)に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位として単位数を計算するものとする。(略)

#### (※)第二十五条

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

必修単位数合計 231.6      上限 232.9

※4年生の「地域マインド教育Ⅳ」は地域医療枠・県民医療枠必修。

※黒潮長期滞在型クリニカルクラークシップは選択制臨床実習に含まれて実施される。